

# 〈やさしい日本語〉に期待すること

一橋大学国際教育センター教授 庵 功雄

[isaoiori@courante.plala.or.jp](mailto:isaoiori@courante.plala.or.jp)

<http://www12.plala.or.jp/isaoiori/>

# 1. 〈やさしい日本語〉が求められる背景

- **毛受講演**
- **日本の人口減少**
- **外国人の受け入れは不可避**
- **→安定的な受け入れには言語（日本語）の問題は避けて通れない**
- **→〈やさしい日本語〉の取り組み**
- **→本講演の目的**
- **→より詳しくは、庵功雄（2016）**

## 2. 〈やさしい日本語〉研究の展開

- 阪神淡路大震災の際の外国人への情報提供
- → 「やさしい日本語」
- パネル1 水野発表

## 2. 〈やさしい日本語〉研究の展開

- 災害時における外国人に対する情報提供
- → 平時における定住外国人に対する情報提供
- → われわれの研究グループの実践
- → 〈やさしい日本語〉

## 2. 〈やさしい日本語〉研究の展開

- 平時における定住外国人に対する情報提供
- →横浜市との協働による公的文書の書き換え
- パネル3岩田発表、パネル4、ブース1
- NHKのNEWS WEB EASYの取り組み
- パネル3田中発表

## 2. 〈やさしい日本語〉研究の展開

- 平時における定住外国人に対する情報提供
- → 言語的少数者に対する言語保障
- → 外国にルーツを持つ子どもたち
- パネル2 志村発表、ブース2 志村ほか発表
- → 障害を持つ人たち（特に、ろう児）
- パネル5 & ブース2 岡・安東発表
- → ことばのバリアフリー
- パネル5 あべ発表
- 知的障害者への情報提供  
パネル5 打浪発表、  
ブース2 スローコミュニケーション発表

## 2. 〈やさしい日本語〉研究の展開

- 平時における定住外国人に対する情報提供
- → 言語的少数者に対する言語保障
- → 一般の日本人にとって 〈やさしい日本語〉 が持つ意味
- パネル1 森発表、パネル3 宇佐美発表
- 「やさしい日本語」を観光に活かす試み
- パネル1 吉開発表
- ブース2 やさしい日本語ツーリズム研究会発表

### 3. やさしい日本語の2つの役割

- 居場所作りのための〈やさしい日本語〉
- バイパスとしての〈やさしい日本語〉

## 4. 居場所作りのための〈やさしい日本語〉

- 新来の定住外国人にとって最も重要なこと
- →日本を「**居場所**」だと感じられること
- →**母語で言えることを日本語でも言える**ようになること (Cf. イ 2013)
- →できるだけ簡単な方策を使って、「**母語で言えることを日本語でも言える**」ようにする
- →**居場所作りのための〈やさしい日本語〉**

## 4. 居場所作りのための〈やさしい日本語〉

- **居場所作りのための〈やさしい日本語〉の3つの側面**
- 1. 初期日本語教育の公的保障の対象としての  
● 〈やさしい日本語〉
- 2. 地域社会の共通言語としての〈やさしい日本語〉
- 3. 地域型初級としての〈やさしい日本語〉

## 4. 居場所作りのための〈やさしい日本語〉

- **1. 初期日本語教育の公的保障の対象としての〈やさしい日本語〉**
- **定住外国人が日本で生きていくのに必要な最低限の日本語教育を、公費により、プロの手で行うことが必要**
  - **費用対効果が高いことが必要**
  - **公的文書の書き換え**

News Web Easy

## 4. 居場所作りのための〈やさしい日本語〉

### 2. 地域社会における共通言語としての〈やさしい日本語〉

〈これまで〉

外国人側に一方的に日本語習得を要求

〈これから〉

日本語母語話者〈受け入れ側の日本人〉

↓ コード（文法、語彙）の制限、

日本語から日本語への翻訳

**〈やさしい日本語〉（地域社会における共通言語）**

↑ ミニマムの文法（Step1, 2）と語彙の習得

日本語ゼロビギナー〈生活者としての外国人〉

→ 実現するか否かは日本語母語話者の意識次第

## 4. 居場所作りのための〈やさしい日本語〉

### 3. 「地域型初級」としての〈やさしい日本語〉

学校型日本語教育と地域型日本語教育（尾崎2004）

- 「学校型」における「初級」の目安は300時間
- 「地域型」の標準は週2時間→「初級」を3年？
- 

	学校型	地域型
参加者間の関係	教師－学生（契約関係）	学び合い（cf. 庵2013）
外国人のビザ	留学ビザ	就労ビザ（家族滞在ビザ）
初級の標準時間数	300時間（旧JLPT3級） 集中予備教育	週2時間

→ 地域型日本語教育の実情に合った「初級」（「地域型初級」）の必要性

## 4. 居場所作りのための〈やさしい日本語〉

### 3. 「地域型初級」としての〈やさしい日本語〉

- 学校型日本語教育の「初級」は、地域型日本語教育にとっては「重い」
- 地域型の実情に合った「初級」（「地域型初級」）を考える必要がある
- 「母語でなら言えることを日本語でも言える」ようにすることを目指す
- → ミニマムの文法としてのStep1, Step2 (cf. 庵2015a)
- → 『にほんごこれだけ！1、2』  
ブース2 佐野発表

## 5. バイパスとしての〈やさしい日本語〉

- **外国にルーツを持つ子どもたちに対する日本語教育**
- → 「まっとうに努力すれば、日本人の子どもたちと対等に競争できる」ようになること（社会的流動性の保障）を目指す
- → このことを抜きに移民の受け入れが進むと、日本国内に「階層の固定化」が生じ、潜在的な社会的不安定要因になる

## 5. バイパスとしての〈やさしい日本語〉

- **外国にルーツを持つ子どもたちに対する日本語教育**
- 日本語は音声的にも文法的にも「標準的な」言語  
(柴谷1981)
- 漢字の問題
- <日本人の子どもたち>
- 「いぬ、いえ、がっこう」(発音)と意味(指示対象)の関係はわかっていて、ひらがなでも書ける
- →学習するのは漢字で書くことだけ
- <外国にルーツを持つ子どもたち>
- 「いぬ、いえ、がっこう」(発音)と意味(指示対象)の関係から学ぶ必要がある
- →日本の漢字には音読みと訓読みがあるのが普通

## 5. バイパスとしての〈やさしい日本語〉

- **外国にルーツを持つ子どもたちに対する日本語教育**
- **漢字の問題**
- **〈外国にルーツを持つ子どもたち〉**
- 「いぬ、いえ、がっこう」（発音）と意味（指示対象）の関係から学ぶ必要がある
- → 小学校で習得すべき漢字は約1000字
- ← アラビア文字は28字
- → 日本の漢字には音読みと訓読みがあるのが普通
- → ごく短期間で身につけなければならない
- ← 高校受験（高校進学率約30%？）
- → 新しい漢字シラバスが必要（cf. 庵・早川2017）

## 5. バイパスとしての〈やさしい日本語〉

- **外国にルーツを持つ子どもたちに対する日本語教育**
- 彼／彼女らと日本人の子どもたちとの間には、スタート時点で大きな差がある
- 日常言語（BICS）は習得できるが、学習言語（CALP）は習得できない（バトラー2011）という問題もある
- →とりあえず上級まで早く行ける「バイパス」が必要
- →新しい文法シラバス（庵2015b）
- →**バイパスとしての〈やさしい日本語〉**  
パネル2 志村発表、ブース2 志村ほか発表

## 6. 障害を持つ人たちと〈やさしい日本語〉

- 「ろう者の祈り」
- 白井千恵が勤める新潟市のNPO「にいまーる」。ダイレクトメール（DM）の配達から戻った男は昨夏、何百キロも離れた土地から、心を復活したくてやって来た。職場で聴者たちにいじめられ、20代半ばにして生きる意味を失いかけていた。
- ろう学校に通った彼は、泣くほど日本語を勉強しログイン前の続きた。でも、尊敬語や謙譲語の使い分けや助詞の使い方など、理解できないことが残った。
- 勉強をがんばって障害者の受け入れを進めている大学に進む。就職活動をしたが、思い通りにいかなかった。卒業して故郷に帰る。
- ある職場でパートを始めた。その日の仕事は紙に書かれ、口頭で説明される。口の形を、懸命に読みとった。
- そこまでは良かった。
- わからないことを書いて質問すると、周りの表情がさげすみに変わった。
- 「おまえ、ほんとうに大学を出たのか？」
- **書いた文章が、少しおかしかったらしい。**それからというもの、一日中むごい言葉を浴びせられた。何を言っているかは口の形でわかる。耐える日々が続く。笑うことを忘れた。〈ぼくに生きる意味はあるの？〉
- ろう者の日本手話では助詞を使わないことがある。だから、「仕事が終わらせる」などと、日本語としては少し変な文を書くこともある。**ろう者にとって、日本語は第2言語だからだ。**日本の聴者のどれだけが、パーフェクトな英語を話すことができるだろうか。それと同じことなのである。（中略）
- 「もう、彼のような『**日本語の悲劇**』を見たくない」。そう語る白井は、すべての聴者にお願がある、という。
- 「みなさん。ろう者は別の言語を使う外国人だと考えて、少しいいので配慮をして下さいませんか。ぜったい日本の経済に貢献してみせますから」
- ろう者が能力を發揮すれば経済にどれだけ貢献できるのか。研究している男が鹿児島にいる。  
=敬称略（朝日新聞デジタル2016.3.10）

## 6. 障害を持つ人たちと〈やさしい日本語〉

- ろう者についての「誤解」
- ろう者の第一言語は「日本手話」
- ろう者にとって「日本語」は第二言語
- →聴者にとっての「英語」と同じ
- ろう者の日本手話では助詞を使わないことがある。だから、「仕事が終わらせる」などと、日本語としては少し変な文を書くこともある。**ろう者にとって、日本語は第2言語**だからだ。日本の聴者のどれだけが、パーフェクトな英語を話すことができるだろうか。それと同じことなのである。
- →このことが認識されるだけで、ろう者の「生きづらさ」ははるかに改善されるはず

## 6. 障害を持つ人たちと〈やさしい日本語〉

- **ろう児に対する日本語教育**
- 「話す、聞く」は不要
- → 習得すべきは「書記日本語」
- 「音声なしでは言語は習得できない」のか？
- → 読み書きだけなら可能
- ← **日本の漢文読み下し**（古代日本人は、古代中国語を音声として理解できたわけではない）

## 6. 障害を持つ人たちと〈やさしい日本語〉

- **ろう児に対する日本語教育**
- **英語を母語とする成人学習者に対する日本語教育**
- **A boy** drinks **a cup of water**.
- → 男の子**が**水**を**飲む。
- → 何語の話者でもこのレベルで脱落する人はほとんどいない
- → 同じ方略（ストラテジー）でろう児に教えればいい
- → 〈人〉が〈もの〉を〈他動詞〉（日本手話で表す）
- **動作主**      **対象**
- → 「動作主」に「が」、「対象」に「を」をつける

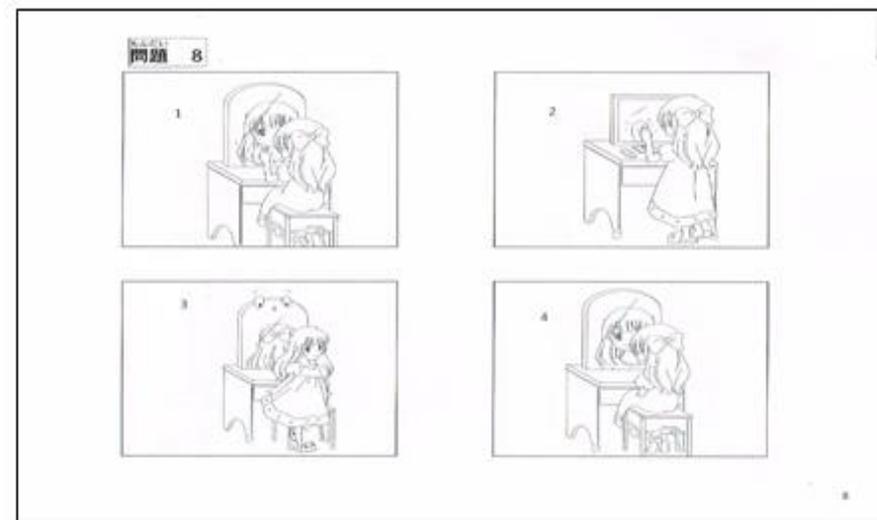
## 6. 障害を持つ人たちと〈やさしい日本語〉

- **ろう児に対する日本語教育**
- **手話の文がどの絵を表しているかを判定する**  
(Iori&Oka2016)

手話による問題の提示



解答用紙の例



## 6. 障害を持つ人たちと〈やさしい日本語〉

- **ろう児に対する日本語教育**
- 手話の文がどの絵を表しているかを判定する
- →〈人〉が〈もの〉を〈他動詞〉（無標のパターン）では、小学校1年生でも正しく、「動作主」と「対象」を識別できた
- →基本的に、成人の日本語学習者と同じパターンで導入することが可能
- →明晴学園で第二言語としての書記日本語教育を開始
- **パネル&ブース2岡・安東発表**
- →日本語教育の「十八番（おはこ）」の分野

## 7. 日本語母語話者にとっての〈やさしい日本語〉

- **日本語母語話者に求められる日本語能力**
- 「自分（だけ）が知っていることを相手に説明して、**相手を自分の考えに同意させる（＝相手を説得する）**」
- <大学> 論文、学会発表
- <会社> 就活の面接、商談でのプレゼンテーション
- <日常生活> マンションの管理会社との交渉
- → 求められるのは「コミュニケーション力」

# 無標と有標

- 「**女医**にかかったほうが男性医師にかかるよりも死亡率や再入院率が低い」という論文がオルトメトリク社の「2017年影響力の高かった論文ランキング」で3位になりました。（Facebookの「東洋経済online」の見出し 2017.12.12）
- **事実！女性医師の方が患者の死亡率が低い**

東洋経済オンライン  
12月12日 9:32

「女医にかかったほうが男性医師にかかるよりも死亡率や再入院率が低い」という論文がオルトメトリク社の「2017年影響力の高かった論文ランキング」で3位になりました。



事実！女性医師のほうが患者の死亡率が低い | 先端科学・研究開発

映画がヒットしたかどうかは興行収入ランキングを見ればいいし、本が多くの人に読まれているかどうかは売り上げランキングを見ればわかる。しかし、研究者が...

事実！女性医師のほうが患者の死亡率が低い  
同研究が「今年影響力の高かった論文」3位に

次ページ>

津川 友介 : UCLA医学部助教

2017年12月12日

いいね! 922 シェア ツイート 一覧 コメント 41 G+ BI 印刷 A A



# 無標と有標

- 「**女医**にかかったほうが**男性医師**にかかるよりも死亡率や再入院率が低い」という論文がオルトメトリク社の「2017年影響力の高かった論文ランキング」で3位になりました。（Facebookの「東洋経済online」の見出し 2017.12.12）
- 事実！女性医師の方が患者の死亡率が低い
- 男性医師 女性医師
- ? 女医
- → 「? = 男医」のはずなのに、「男医」が使われないのはなぜ？

## 7. 日本語母語話者にとっての〈やさしい日本語〉

- **無標と有標**（庵2012）
- [p] と [b]
- [p] = [+両唇、+破裂、**-**有声]
- [b] = [+両唇、+破裂、**+**有声]
- **他の素性が共通で、1つの素性だけが+-で異なる**とき、
- **-**の方を「**無標** (unmarked)」、**+**の方を「**有標** (marked)」と言う

## 7. 日本語母語話者にとっての〈やさしい日本語〉

- 名付けと無標、有標
- さび抜き寿司
- 寿司にはわさびが入っているかいないか、しかない
- 寿司にはわさびが入っているのが普通（無標）
- 入っていない方が特別（有標）
- → 「わさびが入っていない」もの（有標）に名前をつける
- → ○さび抜き ×さび入り
- → 名前をつける際には、有標の概念につける

## 7. 日本語母語話者にとっての〈やさしい日本語〉

- 名付けと無標、有標
- さび抜き寿司
- →名前をつける際には、有標の概念につける
- ○女医 ×男医
- →「医者」という概念において、「女性」は有標
- →**ジェンダー問題**
- Ex. 女だてら、男まさり、女の腐ったような奴
- 働く {人／女性／？男性} の権利を守る。
- Stewardess → Flight attendant

## 7. 日本語母語話者にとっての〈やさしい日本語〉

- **有標の存在が本質をあぶり出す**
- **失語症の研究**
- ← 失語症患者の欠損部分と、失われた言語機能を対応させることで、脳のどの部分がどのような言語機能を司っているかがわかる
- → 有標の存在が本質を照らし出す
- → 同じことは「**外国人の日本語**」についても言える

## 7. 日本語母語話者にとっての〈やさしい日本語〉

- 「自分（だけ）が知っていることを相手に説明して、**相手を自分の考えに同意させる（＝相手を説得する）**」
- →説得するには、まずは、自分の考えを理解してもらうことが必要
- →その訓練には「ロールプレイ」が有効
- →ただし、ロールプレイが**真正な（authentic）（＝本物らしい）**ものであることが必要
- →×日本人（なんとなく「わかってしまう」）
- ○外国人（「わからない」と言ってくれる）
- →有標の存在が本質をあぶり出す

## 7. 日本語母語話者にとっての〈やさしい日本語〉

- 「自分（だけ）が知っていることを相手に説明して、**相手を自分の考えに同意させる（＝相手を説得する）**」
- →説得するには、まずは、自分の考えを理解してもらうことが必要
- →外国人相手に訓練を重ねるうちに、「相手にわかってもらうためには何が必要か、どのような伝え方をすればよいか」を自然に考えるようになる
- →コミュニケーション力が自然に高まる
- →**日本語表現の鏡としての〈やさしい日本語〉**
- →「情けは人のためならず」（本来の意味）
- →**パネル3 宇佐美発表**

## 8. 〈やさしい日本語〉と多文化共生

- **多文化共生**とは？
- →多くの「異なる」文化を持った人たちが同じ社会で「共に」暮らすこと
- →「異なる」のが当然
- →相手の立場を自分の身に置き換えて考えられることが重要
- →「**お互いさまの気持ち**」

## 8. 〈やさしい日本語〉と多文化共生

- テ形、タ形（庵2013）
- 「テ形、タ形」は難しい
- 「～てください」（書きます→書いて）
- ×書いてください（文法○、形態×）
- 書いたことがあります（文法×、形態○）
- →これは×I swimmed in the pool. (→swam) レベルの誤用
- →すぐに完璧に言えるはずがないし、言える必要もない
- →最初はリストを見ながら正しい形を言い、最終的に、全ての形について、リストを見ずに言えればよい

## 8. 〈やさしい日本語〉と多文化共生

- **ボランティアの役割**
- **最も重要なのは外国人と信頼関係（ラポール）を形成すること**
- →日本語を「教える」より、お互いに「**学び合う**」ことが重要
- **ボランティアの役割は日本語教育だけではない**
- **Ex. 通訳である外国人（留学生など）と連携して、地域の定住外国人（特に、子どもなどの家族）が抱えている問題を役所などにつなぐのも非常に重要な役割**

## 9. おわりに

- 「〈やさしい日本語〉と多文化共生」を軸に、〈やさしい日本語〉に関わる理念をできるだけ多角的に紹介
- 庵功雄（2018）「「ことば」から見た他者との対話」『Graphication』 14
- <https://graphication2.s3.amazonaws.com/html/014/index.html#/spreads/20>
- 十分に紹介できなかつた点については、各発表や参考文献をご参照ください

## 参考文献（発表資料集にないもの）

- 庵功雄（2012）『新しい日本語学入門（第2版）』スリーエーネットワーク
- 庵功雄（2013）『日本語教育、日本語学の「次の一手」』くろしお出版
- 庵功雄（2015a）「日本語学的知見から見た初級シラバス」庵・山内編（2015）所収
- 庵功雄（2015b）「日本語学的知見から見た中上級シラバス」庵・山内編（2015）所収
- 庵功雄（2016）『やさしい日本語—多文化共生社会へ』岩波新書
- 庵功雄・早川杏子（2017）「JSL生徒対象の漢字教育見直しに関する基礎的研究—理科教科書の音訓率を中心に」『人文・自然研究』11、一橋大学
- 庵功雄・山内博之編（2015）『現場に役立つ日本語教育研究1 データに基づく文法シラバス』くろしお出版
- 柴谷方良（1981）「日本語は特殊な言語か？」『月刊言語』10-12

ご清聴ありがとうございました